

別表2「AIDリル要件一覧」

【基本要件】

項目			内容
基本事項	サービス提供環境	機器環境	マルチデバイス対応であり、指定する機器環境に対応すること。 ・対応デバイス：Chrome端末、Windows端末、iPad端末 ・対応OS：ChromeOS、Windows11、iPadOS ・対応ブラウザ：Google Chrome、Microsoft Edge、Safari
			操作機器で動作させるシステム及びソフトウェアは、インストールが不要なWeb型システムであること。但し、インストール型システムの場合は、インストール配布モジュール化を施す等、ユーザレベルで容易にインストールできるよう、省力化・簡略化すること。
			オフライン状態でも学習ができること。
		データ管理	クラウド環境等を活用してデータを保存できるようにするとともに、利用者認証により、どの操作機器からでもデータを利用できるようにすること。提案する環境が当該要件と異なる場合は、その理由やデータセキュリティ面で問題ないことを示すこと。
			定期的にデータのバックアップができるようにすること。 障害発生時の情報資産の退避先は発注者が指定した場合を除き全て日本国内であること。
		データ連携	将来的に自動連携等により、名簿及び学習データを校務支援システム（C4th）で一元的に管理できるようにすること。（令和9年12月までに）
		サービス提供時間	原則、24時間365日利用可能とすること。但し、保守等の予定された停止については、この限りではない。
	デザイン・操作性	デザイン・操作性	表示画面上の項目配置や色使い等、児童生徒及び教員等の利用者誰もが、利用しやすいユニバーサルなデザインとなるよう配慮がされていること。また、利用者にとって、詳細なマニュアル等を見なくても感覚的にログインや解答、管理等の操作ができるよう、配慮されたインターフェースであること。
	情報セキュリティ	個人情報・情報セキュリティの遵守	個人情報・情報セキュリティに関する法令及び条例等を遵守すること。
		システムログ	エラー情報の把握やUI/UXの改善に必要なログ情報を取得すること。
		アクセス・操作ログ	管理システムのアクセスログ・操作ログを取得すること。
		不正プログラム対策	システムに稼働環境及び開発・テスト環境においては、コンピュータウイルス等、不正プログラムの侵入や外部からの不正アクセスが起きないよう対策を講じるとともに、当該対策で用いるソフトウェアは常に最新の状態に保つこと。
			システムに稼働環境及び開発・テスト環境で用いるOSやソフトウェアは、不正プログラム対策に係るパッチやバージョンアップ等、適宜実施できる環境を準備すること。
		その他セキュリティ対策	個人情報の保護に配慮する等、利用者が安心して利用できる対策を実施していること。
	サービス終了時・契約満了時等の対応	保有データの消去等	サービス終了もしくはサービス利用契約終了後は、発注者が提供を希望する保有データを提供ののち、速やかにシステムから消去すること。消去においては、復元不可能な状態にすること。
	利用規約等	プライバシーポリシー	サービスにおけるプライバシーポリシーを表示すること。
	関係法規制への対応	関係法規制への対応	サービスの稼働、運用・提供に関する関係法規制を遵守するとともに、常に最新動向を把握し、適宜必要な見直し・改善を実施すること。
資格管理	利用者側アカウント管理	管理情報	児童生徒氏名、学校名、クラス、出席番号等の利用者情報を登録・管理できること。
		アカウント設定・認証方法	ID・パスワード等により、容易にログインできること。また、Microsoft 365 Educationの場合は、Microsoftアカウントとシングルサインオン連携することができ、Google Workspace for Education等の場合は、Googleアカウントと紐づけて利用できること。
		アカウント情報の修正・停止（廃止）	学校管理者アカウントで利用者のアカウントの作成・修正・停止・廃止ができること。
			アカウント管理は、児童生徒等個別での操作のほか、CSV等のファイルによる一括更新に対応できること。
			転出入する児童生徒のアカウント情報の変更ができるとともに、アカウントに紐づく各種情報（名簿情報や学習履歴情報等）が引き継げること。
	管理側アカウント管理	管理情報	所属、名前、担当クラス等、職員情報を登録・管理できること。
			職員アカウントの登録は、CSV等により一括で追加・変更・削除ができること。
		アカウント設定・認証方法	職員ごとに、ID・パスワードでログインできること。
			特定の権限のある職員は、他の職員のパスワードを初期化できること。
		アクセス制御	教育委員会職員、学校管理職、一般教諭等、複数の管理者ごとに参照権限等の設定ができること。
			職員の権限設定は、特定の権限をもつアカウントからのみ行えること。

【機能要件】

項目		内容
児童生徒向け機能	個別学習	目標設定・学習管理
		学習状況が可視化され、児童生徒自ら学習履歴や進捗状況を確認することができること。
		教材
		出題機能
		解答機能
		採点・解説機能
		学習履歴の表示
		その他
教員向け機能	学習履歴	学習履歴の表示
		習熟度の分析把握
		学習データ出力
		学習データ引継ぎ
その他	その他	研修・活用支援
		バージョンアップ
		ログデータ